

「知床半島中央部地区利用適正化基本計画」の具体化について

「中央部地区基本計画」の具体化に向けて、各エリアの現況・課題等を踏まえ、検討の優先順位と関連するエリアのグルーピングを行うもの。

< 優先順位の位置付け >

- A + : 対策の必要性・緊急性が最も高く、最優先で具体化を図る必要性があるエリア
 A : 対策の必要性・緊急性が高く、優先的に具体化を図る必要性があるエリア
 B : 対策の必要性があり、具体化を図る必要性があるエリア
 C : 当面对策を取る必要性が低いエリア

1 各エリアの優先順位（案）

地域	番号	エリア区分	順位
第 地域 (知床連山地域)	登山道沿線	1 岩尾別温泉～羅臼岳	A
		2 羅臼温泉～羅臼岳	B
		3 カムイワッカ～硫黄山	B
		4 知床連山縦走線	A +
	登山道以外	5 登山道以外	C
第 地域 (幌別・知床五湖 ・カムイワッカ ・羅臼湖・知床 横断道路沿線地域)	ホロベツ 岩尾別 知床五湖	6 ホロベツ園地	B
		7 幌別川・岩尾別川	B
		8 車道沿線（横断道～五湖）	A
		9 町道岩尾別温泉道路	B
		10 ホロベツ・岩尾別台地	C
		11 知床五湖園地	A +
		12 知床五湖歩道	A +
	カムイワッカ	13 カムイワッカ	A +
		14 車道沿線（五湖以奥）	B
		15 五湖以奥森林	C
	羅臼湖 知床横断道路 沿線	16 知床横断道路	B
		17 自然観察教育林	C
		18 羅臼湖	A +
		19 羅臼温泉集団施設地区	B
20 熊越の滝		B	
第 地域 (知西別岳及びその周辺地域)	21 知西別岳一帯	C	
	22 その他森林等	C	
第 地域 (ルサ～相泊間の道路沿線地域)	23 車道沿線（ルサ～相泊）	B	
	24 ルサ野営場計画地	B	
	25 河口部（ルサ・オシヨロッコ・相泊）	C	

2 優先順位別のエリア分類

優先順位 A (*はA+)	優先順位 B	優先順位 C
1 岩尾別温泉～羅臼岳 4 知床連山縦走線* 8 車道沿線(横断道～五湖) 11 知床五湖園地* 12 知床五湖歩道* 13 カムイワッカ* 18 羅臼湖*	2 羅臼温泉～羅臼岳 3 カムイワッカ～硫黄山 6 ホロベツ園地 7 幌別川・岩尾別川 9 町道岩尾別温泉道路 14 車道沿線(五湖以奥) 16 知床横断道路 19 羅臼温泉集団施設地区 20 熊越の滝 23 車道沿線(ルサ～相泊) 24 ルサ野営場計画地	5 登山道以外 10 ホロベツ・岩尾別台地 (海崖周辺) 15 五湖以奥森林 17 自然観察教育林 21 知西別岳一帯 22 その他森林等 25 河口部(ルサ・ オシヨロツコ・相泊)

2 優先的に検討するエリアとそのグループ(案)

来年度以降、優先的に検討するエリア(検討エリア A+)と関連するエリア(関連エリア)のグルーピングを以下のようにする。

検討エリア	関連エリア
11 知床五湖園地 (A+) 12 知床五湖歩道 (A+)	8 車道沿線(横断道～五湖) (A)
13 カムイワッカ (A+)	14 車道沿線(五湖以奥) (B)
18 羅臼湖 (A+)	16 知床横断道路 (B) 19 羅臼温泉集団施設地区 (B)
4 知床連山縦走線 (A+)	1 岩尾別温泉～羅臼岳 (A) 2 羅臼温泉～羅臼岳 (B) 3 カムイワッカ～硫黄山 (B) 9 町道岩尾別温泉道路 (B)

3 各検討エリアの検討課題

11 知床五湖園地（自然体験タイプ：D、基本的方向性：イ - 2）

検討課題	基本計画における取り扱い方針
利用拠点としての整備	知床五湖が担っている地域の観光産業の維持及び一般利用者の安全性向上と安定的な利用の提供。
利用環境の質的向上	知床五湖園地（駐車場、便所、売店）は、混雑期間における駐車場入口や便所の渋滞の緩和対策及び情報提供、普及・啓発、レクチャー等の機能（ミニビジター）の整備の検討を行う。

12 知床五湖歩道（自然体験タイプ：B-、基本的方向性：ロ - 1）

検討課題	基本計画における取り扱い方針
利用のコントロール手法	五湖本来の原生的な自然の持続的な保全、及び国立公園ならではの質の高い自然とのふれあい・公園利用サービスの提供。 周回歩道は、一定の「利用ルール」の下でのコントロールされた利用の検討を行う。なお、コントロール手法（法的・非法的ルール等）及びガイドシステム、安全管理等の手法については関係機関、関係団体等と連携・協力して検討を行う。

13 カムイワッカ（自然体験タイプ：B-、基本的方向性：ロ - 1）

検討課題	基本計画における取り扱い方針
利用ルール	「利用ルール」づくりとその普及・啓発及び事前に自然や安全・危険等に関する情報を提供するシステムの確立と管理・巡視体制の充実を図る。 利用者の安全対策、立ち売り対策、トイレ対策等管理・巡視体制の充実を図る。 湯の滝までのルート状況（険しさ、滑りやすさ等）や周辺の落石の危険性、救護に要する時間や強酸性による皮膚の炎症等について情報提供の充実を図る。

18 羅臼湖（自然体験タイプ：B - 、基本的方向性：ロ - 1）

検討課題	基本計画における取り扱い方針
利用のコントロール手法	近年、利用者が急激に増加しており、今後当該地の自然環境や体験の質に悪影響を及ぼすおそれがあることから、必要に応じて一定の「利用ルール」の下でのコントロールされた利用の検討を行う。また、より質の高い自然体験を得ることができるガイドシステムについても検討を行う。
歩道の取扱	羅臼湖歩道は、既存施設の破損箇所等の修復及び沿線の植生保護のために必要な整備や立入防止ロープ柵等により保護管理を行う。

4 知床連山縦走線（自然体験タイプ：B - 、基本的方向性：イ - 2）

検討課題	基本計画における取り扱い方針
維持補修等 登山道の管理のあり方	登山道沿線の植生保護のための措置及び登山道の浸食等の発生・拡大を防ぐため、最小限の修復整備を行う。二つ池周辺については、登山道の荒廃や野営地の裸地拡大防止のために、ルートや野営指定地の変更も検討する。